

研究課題名	救命救急センターにおけるリハビリテーション実施患者の身体認知機能と予後に関する後方視的研究
研究の意義・目的	<p>医療の進歩とともに救命率は向上してきています。その一方で、集中治療後の身体および認知機能の低下が長期に渡り改善しない問題点が注目されています。その対策の一つとして、集中治療領域における早期リハビリテーションが推奨されており、ADL（日常生活動作）向上、人工呼吸器装着期間の短縮、在院日数の短縮など多くの効果をもたらすとされています。</p> <p>本研究では、大阪公立大学医学部附属病院で救命救急センターに入室された患者のうち、リハビリテーションを実施した患者の身体認知機能や予後に関して、後方視的に臨床データを解析すること研究目的とします。</p>
研究を行う期間	<p>承認前の参加者のカルテ上の集積期間：2016年4月1日（西暦）～ 承認まで</p> <p>承認後の参加者集積期間：承認後 ～ 2022年3月31日（西暦）</p> <p>追跡期間：2016年4月1日 ～ 2023年3月31日</p> <p>研究実施期間：承認後から2026年4月30日</p>
研究対象者の範囲	2016年4月1日から2022年3月31日に大阪公立大学医学部附属病院の救命救急センターに入院し、リハビリテーション介入を受けられた患者さんが対象です。
お願いする内容	<p>大阪公立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>過去の診療記録より年齢、性別などの個人背景や画像、検査データ、臨床所見、治療経過などを抽出し分析します。</p>
頂いた試料・情報の提供方法	該当なし
頂いた試料・情報の管理について責任者	<p>所属：大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部</p> <p>職名：部長 氏名：寺井秀富</p>
この研究を行っている施設（共同研究機関）	該当なし
代表施設のURL	http://www.ocu-ccmc.jp
研究の成果を公表する方法	学術大会での発表や論文投稿を予定しています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>研究代表者：加藤良一</p> <p>大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部</p> <p>補職名：係員</p> <p>住所：大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7</p> <p>電話：06-6645-2386</p>